

2026年3月13日

「CPCC 国内初の現場打ちコンクリートへCO₂固定」 ～日野市と連携し環境配慮型コンクリートで気候変動対策を推進～

青木あすなろ建設株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：望月尚幸）が参加する CP コンクリートコンソーシアム（CPCC）^{（注1）}と日野市（東京都）は、地域社会の持続可能性を高めるための気候変動対策として連携協定を締結し、2026年4月にオープン予定の日野市の「西平山あそびば」において、CPCCが開発に取り組んでいる二酸化炭素（CO₂）を吸収・固定する CP コンクリート^{（注2）}を使用して、ベンチの製作や、スロープおよび駐車場の舗装を行いました。また、豊田駅前のバスベイにおいて、CP コンクリートを使って製造したプレキャスト鉄筋コンクリート版（PRC 版）の施工を行いました。この取り組みは、実際に CP コンクリートを地域で使用することにより、社会実装の推進を目的としています。



「西平山あそびば」に施工した CP コンクリート製ベンチとスロープ



豊田駅前バスベイに施工した CP コンクリート製 PRC 版

1. 取り組みの背景

近年、環境意識の高まりとともに持続可能なインフラ整備が求められています。CPCCでは、建設現場で発生する余剰コンクリート（戻りコンクリート）や解体時に排出されるコンクリートガラなど、従来は廃棄物として扱われていた材料にCO₂を固定して再利用する技術として、NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）グリーンイノベーション基金事業の採択を受け、CPコンクリートの開発に取り組んでいます。一方、日野市は「気候非常事態宣言」を発出し、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ「カーボンニュートラルシティ HINO」（注3）を目指す一環として、この技術の社会実証の連携実施を決定しました。今回の連携により、両者は地域でCPコンクリートを活用し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進します。

2. 取り組みの概要とCPCC各社の担当役割

今回の取り組みは、CPCCが各専門分野の知見を活かして推進しているCPコンクリートプロジェクトの象徴的な案件です。

これまでCPCCでは、CO₂を固定したCPコンクリート製の構造物を事前に工場で製造し、現場に運搬して設置していました。しかし、今回の試験施工ではCPコンクリート製のベンチを現場で打設した後、さらにCO₂をCPコンクリートに現場で固定する作業を国内で初めて実施しました。今回施工したベンチやスロープ、舗装に固定したCO₂量は、今後測定・検証し、日本国温室効果ガスインベントリ報告（注4）への反映に向けてデータを提供します。

CPCCにおける担当役割は以下のとおりです。

役割	企業・団体
CP骨材の製造	株式会社内山アドバンス、 大阪兵庫生コンクリート工業組合
CP生コンクリートの製造	株式会社内山アドバンス（グループ工場）
舗装チーム （スロープ・駐車場・豊田駅前バスベイ）	株式会社佐藤渡辺 大成ロテック株式会社
構造物チーム（ベンチ）	青木あすなろ建設株式会社 株式会社浅沼組 株式会社安藤・間

今後もCPCCと日野市は、気候変動対策を進めるため、引き続き協力を重ねてまいります。



左：「西平山あそびば」に CP コンクリート製ベンチを打設する様子

右：「西平山あそびば」に打設した CP コンクリート製ベンチに CO₂を固定する様子



左：「西平山あそびば」のスロープに CP 透水性ポーラスコンクリートを施工する様子

右：豊田駅前バスベイに施工するため、CP コンクリートを使って製造した PRC 版

(注1) CP コンクリートコンソーシアムホームページ：<https://carbon-pool.com/>

CP コンクリート YouTube チャンネル：<https://www.youtube.com/@carbon-pool>

(注2) CP コンクリートは、“Carbon Pool Concrete”の略で、セメント焼成工程などで発生する CO₂をコンクリート由来の産業廃棄物に固定化し、コンクリート材料として再利用する地域内循環を構築します。この新技術により、CO₂の吸収と固定を最大・最速に実現し、カーボンネガティブを目指します。

CP コンクリートの開発は NEDO（国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）によるグリーンイノベーション基金事業「CO₂を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」の委託事業として実施しています。

(注3) 日野市は「気候非常事態宣言」を発出後「気候変動対策施策ロードマップ」を策定し、令和 32 年（2050 年）カーボンニュートラルを目指しています。

<https://www.city.hino.lg.jp/kurashi/kankyo/co2/1027572.html>

(注4) 一定期間内に特定の物質がどの排出源・吸収源からどの程度排出・吸収されたかを示す一覧表のこと。

<https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg-mrv/overview.html>

日野市 公式ウェブサイト

<https://www.city.hino.lg.jp/>

【本件に関するお問い合わせ先】

CP コンクリートコンソーシアム

担当者名: 白岩

電話番号: 080-1273-3868

Eメール: shiraiwa.seishi@ad-hzm.co.jp

日野市 まちづくり部 区画整理課 計画係

担当者名: 好見

電話番号: 042-514-8395 (直通)

Eメール: kukaku1@city.hino.lg.jp

以上